



発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
向井正雄
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722
H25-64



大阪府消防大会

平成25年9月8日(日)雨模様の中、第57回大阪府消防大会が大阪府立消防学校において開催され、小型ポンプ操法の部に八尾市消防団南東方面隊が出場し、見事優勝しました。

併せて、中河内地区としても総合優勝しました。

大会には、方面隊での出場ということで選手選考の難しさがあり、いろいろ話し合った結果、2チームを作り、選考会で消防本部と方面隊長が審査するという方法で5月17日に正式に選手を決めました。4月23日の壮行会から約4ヶ月

の操法訓練の間、本当に熱心にご指導してくださいました消防本部の皆様方、向井団長はじめ団本部各分団、諸先輩方の心のこもった激励には本当に感謝しております。

最後になりましたが、4人の選手には、自主訓練を含めて約10ヶ月間、最後の最後まで精一杯訓練に取り組んでいただいた姿に感動いたしました。

本当にお疲れ様でした。

南高安分団 西山 勝博

平成 25 年 4 月 1 日に向井団長が就任されました。就任にあたりインタビューさせていただきました。



八尾市消防団 団長 向井 正雄

Q 団員経験がお有りです、小型ポンプ操法の優勝経験もなさっておられると存じておりますが、当時の思い出等をお聞きたいのですが？

A 私は、拜命以来、小型ポンプ操法に情熱を傾けてまいりました。

その当時の岩田朝吉団長はポンプ操法に本当に熱心な方でした。

私を含む第八分団（現山本分団）の 4 人が大阪府の大会で初めて中河内に優勝旗を持ち帰ることが出来ましたが、それは、岩田団長が亡くなられて 1 年後のことでした。

大会からの帰り、岩田団長のお墓に優勝旗を持って報告に行った事が今でも懐かしく思い出されます。

もう 1 年早ければ、どれほど岩田団長を喜ばすことができたかと思うと、残念でなりませんでした。

Q 大規模災害時に消防団に期待することは？

A 今騒がれている大規模災害に向けて、消防団員は自分の家から被害を出さない様に努力するとともに、自らの地域は自らの力で守ると言うことをモットーに、ご近所の方々に助けることを団員として心掛け、日ごろから努力してください。

私が団長を引き受けたテーマとして「自助近助」という言葉を合言葉にしていきたいと思えます。

Q 団長が消防団員に望むことは？

A 消防団員であることを意気に感じて、誇りを持って消防団活動に当たっていただきたい。

Q 市内の各町会等、自主防災組織と消防団との連携について、どうお考えですか？

A 退団後の 5 年間は町会に携わり自主防災組織と消防団の連携をもっと密にすることが重要課題であると認識しました。

消防団員は、自主防災組織の方々に比べて様々な訓練を行っておりますので、消防団員が各地区の自主防災組織をリードしていてもいいと思います。

委員長 山本分団 竹下 健一



任命式

平成 25 年 4 月 1 日 (月) 消防団員の任命式が挙行され、23 名の新団員が誕生しました。新団員の抱負を伺いました。



- 氏名 (所属)
- ① 職業
- ② 趣味
- ③ 消防団員としての抱負



市田 篤史 (南高安)

- ① 花屋
- ② バイクに乗ること
- ③ 一日でも早く、地域の皆様のお役に立てるように訓練を重ねて頑張っていきたいと思います。



竹田 英夫 (八尾)

- ① 建設業
- ② 絵画、川魚が好き
- ③ 消防団員となつて綺麗な八尾の景観を守りたいと思います。



南嶋 博幸 (西郡)

- ① 飲食業
- ② 魚釣り
- ③ 一日でも早く消防団員としての自覚を持って、よう訓練に励み地域の役に立つよう頑張りたいと思います。



池脇 英雄 (西郡)

- ① 会社員
- ② 野球
- ③ 地域を守る消防団員として、年は取っていますが諸先輩方に追いつけるように頑張っていきたいと思います。



笠 光浩 (久宝寺)

- ① 建築業
- ② 釣り
- ③ 地域に少しでも、お役に立てるように頑張ります。



藤本 幸代 (団本部)

- ① 会社員
- ② 読書・旅行
- ③ 八尾市で初めての女性消防団員として女性ならではの視点を活かし、一歩ずつ挑戦していきます。



吉田 隆志(南高安)

- ① 会社員
- ② ゴルフ
- ③ 火災、震災等あらゆる災害から地域を守るため、日々の訓練に精進し一日も早く立派な消防団員になれるよう務めていきます。



山口 祐志(南高安)

- ① 家電販売、電気工事業
- ② フットサル
- ③ 生まれ育った地域の安全、安心を守る消防団の一員となつて日々、努力していきたくと思っています。



森川 大輔(南高安)

- ① 自動車サービス業
- ② ウェイクボード・スノーボード
- ③ 地域を守る消防団の一員として、一日でも早く、規律行動などを覚えて地元の役に立てるように頑張っていきたいと思います。



西尾 和範(南高安)

- ① 自営業
- ② ゴルフ
- ③ 火災等があつた際に対応出来るように訓練し、いろいろと覚えて頑張っていきたいと思っています。



辻野 孝志(南高安)

- ① 整骨院
- ② 野球
- ③ 消防団の一員として、地域のために精一杯務め、日々の訓練を頑張っていきます。



巽 純也(南高安)

- ① 会社員
- ② 読書
- ③ 地域の安全と安心を確保し、皆様に愛される消防団員になれるよう、日々の訓練に取り組みます。



上田 聡(高安)

- ① 会社員
- ② スノーボード
- ③ 少しでも地域に貢献できればと思っています。



田中 正治(高安)

- ① 造園業
- ② パチンコ
- ③ 消防団の活動を通じ、地域貢献したいと思い入団しました。これからいろいろ学びながら頑張っていきたいと思っています。



清水 宏祐(高安)

- ① 会社員
- ② 釣り
- ③ 一日でも早く消防の技術を身に付け、家族や地域から頼られるカッコイイ消防団員を目指し頑張っていきたいです。



竹内 孝太郎(高安)

- ① 建設業
- ② ゴルフ
- ③ 日々、消防団員としての自覚を実感しています。胸を張って「消防団員です」と言えるよう、頑張っていきたいと思います。



植田 恭啓(高安)

- ① 会社員
- ② 山登り
- ③ 地域の安全・安心のため、一つでも多く学び、訓練し諸先輩方と団結し頑張っていきたいと思っています。



増田 卓司(高安)

- ① 会社員
- ② 釣り
- ③ 地域の消防団員として、諸先輩方の指導のもと、初心を忘れず高安地区の安全のために頑張っていきたいと思えます。



平池 稔(志志紀)

- ① 会社員
- ② ドライブ
- ③ 初心を忘れず今後の消防活動頑張ります。



中村 英喜(志志紀)

- ① 診療放射線技師(事務長)
- ② 野球
- ③ 町の安全を守る消防団員を目指し頑張っていきたいと思っています。



山根 陽平(山本)

- ① 介護職
- ② 野球
- ③ 地域のために精一杯貢献したいと思っています。



橋本 和則(山本)

- ① 自営業
- ② ツーリング・スキー
- ③ 日頃より消防団の一員であることを自覚し、防災意識を持つよう心掛けていきます。



椿本 達也(山本)

- ① 郵便局員
- ② カメラ
- ③ 地域のために、気合を入れて頑張っていきたいと思えます。



お知らせコーナー
(平成25年度の消防団行事)

| | |
|-----|--|
| 3月 | 春の火災予防運動 消防記念日式典 大阪府消防表彰式 広報誌発行 |
| 12月 | 歳末警戒 消防出初式 文化財訓練 |
| 11月 | 消防団120周年・自治体消防機関員研修 |
| 10月 | 秋の火災予防運動 消防団員健康診断 防火フェスティバル |
| 9月 | 大阪府消防殉職者慰霊祭 |
| 8月 | 厚生事業 |
| 7月 | 厚生事業 |
| 6月 | 厚生事業 |
| 5月 | 厚生事業 |
| 4月 | 消防団中級幹部教育訓練 |
| 3月 | 防災訓練 |
| 2月 | 八尾河内音頭まつり警備 |
| 1月 | 久宝寺寺内町燈路まつり |

基礎 (初任) 教育訓練

平成 25 年 6 月 9 日 (日) 大阪府立消防学校において実施された消防団基礎 (初任) 教育訓練に参加しました。

午前中は、研修室での座学と訓練場での訓練礼式でした。

座学では、消防団組織の概要や歴史、基礎知識、事故防止について説明を受け、最後に実際の事故映像を見ました。

午後からの実科の訓練で、2つのグループに分かれて訓練を行いました。

私は、始めに「放水訓練」を行



いました。現場外套を着て、東大阪市の女性団員 2 名と、初めてホースを持ちました。

予想以上の水圧で、教えていただいたやり方でなければ、この水圧に耐えられないことを身を持って学びました。

基礎 (初任) 訓練を経験することはとても重要であり、この訓練を通して、消防団員としての初めの一步を踏み出せたと思います。

団本部 藤本 幸代

消防団初級幹部教育訓練

平成 25 年 6 月 9 日 (日) 大阪府立消防学校において、中河内地区支部 (東大阪市、柏原市、八尾市) の消防団合同で初級幹部教育訓練が実施されました。

初級幹部の団員は、教室に移り「安全管理の原点」「安全管理の基本」「安全管理のための心理分析」などの教育を受けました。

その中で、「慣れの除去」ということを教わり、「反復訓練により技術を習得し正確かつ迅速な行動が可能になる。しかし慣れにより基本的な動作を省略してしまうことがある。」と聞き、常に初心

を忘れず正確な行動をしていれば、現場での事故は防げるんだと思いました。

教室での講義後、グラウンドに移りロープ結索、昼食を挟み、無人筒先の放水を見学、水圧によりホースと筒先が暴れる様子は、非常に恐ろしく感じ、ここでも安全管理の大切さを痛感させられました。

その後、徒手搬送、訓練礼式、各個訓練を行い、基本的な動作を反復練習しました。

これから班長になり、教わる立場から教える立場になります。常に初心を忘れず安全管理の基本を心掛け、これからの消防団任務を務めたいと思います。

最後にこの言葉も教わりました。『釘一つ拾う、心に事故はなし』これは、安全管理の基本の標語です。

高安分団 錦織 栄夫

幹部視察研修 平成 25 年 6 月 19 日 (水)

稲むら (わら) に火を放って、暗闇の中で襲い来る津波から逃げ遅れた村人を、高台にある神社の境内に導いて多くの命を救ったと

いう濱口悟陵の話をご存知でしょうか。

今回の視察研修は、この実話のあった和歌山県有田郡広川町にある「稲むらの火の館」でした。

この記念館には、過去の大きな津波の資料や長さ 16 m の津波実験水槽があり、3D 津波映像シアターでは地震や津波の恐ろしさとその威力を体感することができました。

今回の研修で防災精神や人命尊重の精神を踏まえ、来たる大きな災害から大切な生命や暮らしを守ることを学びました。

曙川分団長 松田 悦治



恩智川水防訓練

平成25年4月27日(土)大雨による恩智川の急激な水位上昇を想定した水防訓練が、花園中央公園で行われました。

八尾市消防団は第2小隊として、せき板工という工法を実施しました。

この工法は、堤防が沈下したり、増水が激しく、流れが堤防を越えそうになった場合に、堤防天端に杭を打ち込み、その杭に板を固定し、土のうや土砂を積み越水を防ぐものです。

また、せき板を川表と川裏側の2列に設置し、その間に土のうや土砂を積めると効果が増します。開会式の後、岩田北東方面隊長の「駆け足進め」の号令で作業場所まで移動し、土のう袋にスコップで土を入れ土のうを作成し、アルミの杭に木板を番線で固定しました。

その後、土のうを積み上げて工法を完成させました。



今回初めて参加された団員の体験談を掲載します。

高安分団 樋口 雄一

今日、コンクリートやアスファルトが増え、杭の打てない場所も多くなってきていると思われまます。人工構造物に適した工法を様々なパターンを想定して作り出し、それを学ぶことがこれからの水防には必要だと思いました。

山本分団 岩田 兼一

集中豪雨や台風による実際の災害時では、足場が不安定になり作業が思うように進まないことが予想されます。

また、自然災害はいつ発生するか予測できないため、日ごろからの訓練の大切さを実感しました。

編集者の感想

杭を打ち、板を立て、土のうを積む。簡単な作業の積み重ねではありませんが、学んだことを災害時に実践し迅速に団員一人ひとりが活動することが大きな力になるのではないのでしょうか。

高安分団 錦織 栄夫



防災リーダー育成研修会

平成25年5月25日(土)大阪府中部広域防災拠点において、大規模災害発生時の防災活動に必要な知識及び技術等の習得並びに防災意識の高揚及び地域防災力の向上を目的とした平成25年度防災リーダー育成研修会が開催されました。

阪神・淡路大震災の語部より体験談などの講演や可搬式動力ポンプを用いた取り扱い訓練、放水訓練や心肺蘇生法及びAED取り扱い訓練を含んだ応急手当訓練を行いました。



志紀分団 松本 直也

中でも、防災意識、知識の共有を目指したクローズドサークルゲームでは、少人数のグループに分かれ「地震の際、家族を迎えに行く途中で困っている人に出会ったらどうするか?」といった明確な正解の出せない状況についてグループで意見を出し合いました。多数派が占める意見が出たり、周りの方が驚く意見が出たりと様々な意見が飛び交いました。一人だけという意見が出たときはプレゼントがあり、より多くの意見が出るゲームでした。以上のように一日防災について考え、訓練をしていただきましたが、大災害の発生が予測される昨今、皆さんもこのような訓練があれば参加され、防災について考えてみてはいかがでしょうか。

地域一斉清掃の巻 坂根 作

① 6月2日(日曜日)

西郡地域の一斉清掃に参加

② 9時集合!

清掃開始

③ 当然分別します

資源? モイル? 可燃 複雑

④ 10時終了

お疲れ様でした

新屯所紹介(八尾)

平成25年6月8日(土) 八尾分団屯所の開所式が行われました。

晴天で非常に暑い中、田中市長をはじめ藤原消防長、向井団長、小角前団長、団員OBまで出席していただき、大変盛大に行われました。

今まで平家建ての非常に狭い屯所でしたが、2階建てとなりとてもきれいな屯所に生まれ変わりました。

以前はトイレもシャワーもキッチンもなかったのですが今回は住めるほど快適です。

今回新屯所の開所式のお祝いとして八尾分団OBより、大きな時計をいただき、屯所正面に設置しました。



八尾分団 山地 睦真

バス停が近いこともあり、市民の方々からは「時間の確認ができる」と非常に喜んでいただいております。萱振のシンボリックな建物になっていきます。

近くに来られた時にはぜひ見てください。今後も新屯所は、大切に綺麗な状態を維持していきたいと思えます。

新屯所紹介(龍華)

平成25年3月16日(土) 龍華分団屯所の開所式が行われました。

当日は大変お忙しい中、ご来賓として、八尾市長をはじめ消防本部、各種団体の代表者の皆様にご出席いただき、盛大に開催することができました。

これで長い間、待ち望んでいた、龍華分団屯所が完成しました。

旧屯所は、八尾市内でも最小の屯所でしたが、建替えにより、22㎡の木造平家建てから約84㎡の鉄骨造2階建ての立派な屯所になりました。

今後、益々新屯所が団活動の拠点場所になることでしょう。「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、地域の皆様と連帯意識を深め、自主防災組織の皆様とタッグを組み、市民の生命

や財産を守るため、災害のないまちづくりに向けて邁進する決意を新たにしました。

龍華分団 岡田 真一

分団紹介(南高安分団)

南高安分団は、北部、中部、南部の3分隊で構成される、総勢48名の分団です。

普段の分団の活動は月2回、主に放水訓練及び機器の点検整備などを行っています。

また、南高安地区は山に隣接して緑が多く自然が多い地域でもあります。

そのため、山林火災を想定した林野火災訓練なども行っています。

また、この記事を書いている8月現在、平成25年9月8日(日)に行われる第57回大阪府消防大会(小型ポンプ操法)に向けて4月から火曜日、金曜日と週2回訓練を行っています。

今年は例年になく暑さが厳しいですが、選手の皆さんは、サポートをする皆さんや消防本部警防課の皆さんの熱い指導のもと頑張っています。

南高安分団 松下 雄治

久宝寺地区自主防災訓練

これまで久宝寺小学校において地域のスタッフを中心に、年に一回久宝寺地区自主防災訓練を実施してきましたが、平成25年度は久宝寺小学校校区を7つのブロックに分け、地域参加型により計5回実施される事となりました。

その第一回目の訓練が、平成25年6月9日(日)桜橋公園において、総勢150名の地域の皆さんの参加により行われ、消防本部や久宝寺分団も参加させていただきました。

訓練は「ガレキの撤去」「AED心肺蘇生法」「消火器による初期消火」を順番に実施し、私たち久宝寺分団も、消防本部の方と一緒に、「ガレキ撤去訓練」でジャッキの使い方や毛布と竿を使った簡易担架の作り方等を指導させていただきました。

最後は全員で、隣接する長瀬川からのバケツリレーを行い、大変有意義な訓練となりました。

また、参加者の方々は防災に関する知識や技術力の向上だけでなく、地域の絆も深めることができました。

防災に関わる消防団員として、今後も地域の役に立てるよう、頑張っていきたいと思えます。

久宝寺分団 赤岩 孝浩



特集

地震の備え万全ですか？

大地震の発生が危ぶまれる昨今、一人ひとりの対応が被害軽減に繋がるのではないのでしょうか。

その一助となればと、今回は震災の経験談を特集しました。

○防災グッズは、準備していても

実際には、なかなか持ち出せない。○現場にあると便利だったものは

- ・手袋・靴

ガラスの破片、針等危険なものが多いので怪我をしないために

- ・厚手のビニール袋

水を入れても破れない厚さだと水を入れておくことができるため

この3点は重宝したそうです。

○下水や飲み水など水の確保は難しく、お風呂の残り湯があると便利だったそうです。

○避難生活は震災直後から3日目くらいまでは、お互い協力し合えるが、それを超えると精神的に疲れてきて、まとまりがなくなってくるそうです。

○避難生活が長期にわたると治安が悪くなり警察官、消防士、消防団員などの制服を着た人を見かけると安心され、懐中電灯を持ち、立っているだけでも安心されるそうです。



◎広報部員名簿◎

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 山本分団 | 竹下 健一 |
| 副委員長 | 西郡分団 | 坂根 和男 |
| 委員 | 大正分団 | 木田 宗利 |
| | 久宝寺分団 | 田口 裕晃 |
| | " | 赤岩 孝浩 |
| | 西郡分団 | 澤田 吉行 |
| | 八尾分団 | 山井 睦真 |
| | " | 岩井 謙一 |
| | 龍華分団 | 岡田 真一 |
| | " | 兼山 泰治 |
| | 大正分団 | 戸澤 勝彦 |
| | 曙川分団 | 松岡 行宏 |
| | " | 北林 文善 |
| | 南高安分団 | 長峰 宏輔 |
| | " | 西山 勝博 |
| | 高安分団 | 松山 栄治 |
| | " | 樋口 雄一 |
| | 山本分団 | 岩田 兼一 |
| | 志紀分団 | 松本 直也 |
| | " | 宮平 誠二 |



平成26年度
女性消防団員 募集！

募集人員 4人

※募集人員に達した時点で終了詳しくは、11月号市政だよりに掲載しています。

～第57回大阪府消防大会を終えて～



指揮者 西尾 良彦

平成 25 年 9 月 8 日 (日) に行われた大阪府消防操法訓練大会に小型ポンプ操法で出場させていただきました。



2 番員 西尾 克徳

この度、平成 25 年 9 月 8 日 (日) 大阪府消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部で出場させていただきました。

練習が始まりました。その中で、消防本部の皆様、そして南東方面隊の先輩方、後輩達が僕達の為に貴重なお時間を使ってくれていただき、その結果、優勝という一番良い結果で終わることができました。

みんなで掴んだ優勝だと思っています。この南東方面隊のメンバーで、そしてこの 4 人で操法ができてよかったです。この訓練で学んだことをこれからの消防団活動に活かしていきたいと思っています。本当に長い間ありがとうございました。



はじめに、大会当日までの長い期間、私たち 4 人を選手として育てるために、何度も何度もご指導くださった消防本部、曙川分団、南高安分団の皆様、また応援にご協力くださった多くの皆様、本当にありがとうございました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、大きな舞台を目前に込み上げてくるものは熱く、「絶対に勝ちたい。」という想い、当にありがとうございました。

今回の熱い思いや、諸先輩方、消防本部の熱意に満ちた指導は、訓練を重ねるたびに優しくもあり厳しくも感じました。またホース巻きや設営等、訓練前に分団の先輩方や後輩の皆様には、様々な準備をしていただきました。

そして同じ気持ちを持つ仲間との団結力、これが緊張やプレッシャーを程よい状態へと変えてくれたと思います。その結果、「優勝」という言葉を聞いたとき長く厳しい訓練や叱咤・激励、くださったすべての方々の熱意を思い出し胸がいっぱいになりました。



1 番員 山本 大寛

思い返すと皆様のご協力があったからこそ、辛く苦しい訓練を最後までやり遂げることが出来たと感じています。今後は、この経験を活かし、後輩団員達にいろいろなことを伝えていきたいと思います。



3 番員 松倉 祥宏

最後に、大会当日までの長い期間、私たち 4 人を選手として育てるために、何度も何度もご指導くださった消防本部、曙川分団、南高安分団の皆様、また応援にご協力くださった多くの皆様、本当にありがとうございました。

消防大会を終えて

今回、小型ポンプ操法の一番員の選手候補として曙川分団から初めて訓練に参加しました。

操法の基本動作、選手同士の連携、タイム等すべてを意識しないといけないことの難しさを身を持って痛感しました。

頭でイメージできていても、それがうまくできないのがもどかし、とにかく反復練習をして体に覚え込ませるしかありませんでした。

その後、南高安分団中・南部分隊も加わり、全体訓練では分団に關係なく全員で選手のサポートに回り、ホース巻きから撤収、機材設置等ここでも和の大切さを認識しました。

今回得た技術は、今後の消防活動においても十分役立てたいと思います。

また、長期にわたり合同訓練をしてきたことは、とても有意義で団員同士の結束も深まり今後の南東方面隊としての活動に繋がるきっかけにもなったと思います。

曙川分団 北林 丈善